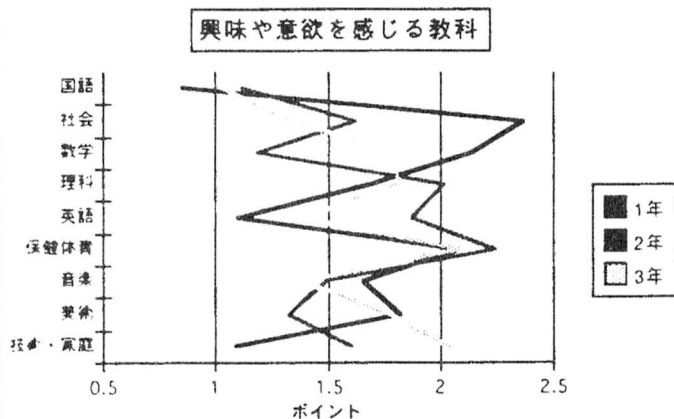


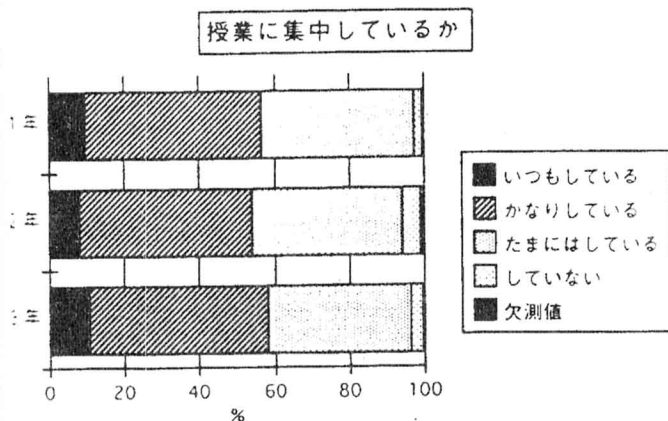
## 興味や意欲を感じる教科

「興味や意欲を感じる教科」について、複数選択させたものを上位からポイント化して表したものが、下の表である。1年生の国語、英語、2年生の国語、数学への抵抗感が表れている。



## 授業にいつも集中している生徒は10%

「授業に集中しているか」という問いに「いつもしている」と答えたものは10%前後にすぎない。「かなりしている」と合わせて、ようやく50%を超える。

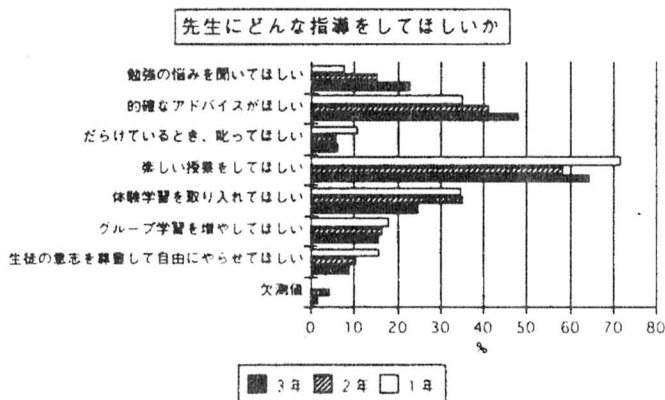


## 楽しい授業を!

では、生徒たちは「先生にどんな指導をしてほしい」と願っているのだろうか。

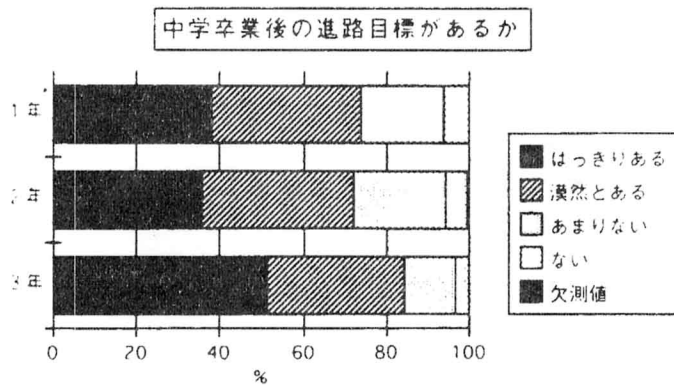
圧倒的に多い答えが、「楽しい授業をしてほしい」という願いである。「体験学習

を取り入れてほしい」「グループ学習を増やしてほしい」「的確なアドバイスがほしい」などというのも、教師に対する期待感の表れであろう。



## 進路目標は見据えている

「中学卒業後の進路目標があるか」どうか、気になるところであるが、70%以上の生徒が「はっきりある」「漠然とある」と答えている。



「将来の職業についての目標」についても、70%前後の生徒が「はっきりある」「漠然とある」と答えており、程度の差はあれ目的意識を持っていることが分かる。

にもかかわらず、それが学習行動となって表れてこないのは、どこに原因があるのだろうか。